

# 南越稲作情報 No3

## — 中干しと病害虫防除 —

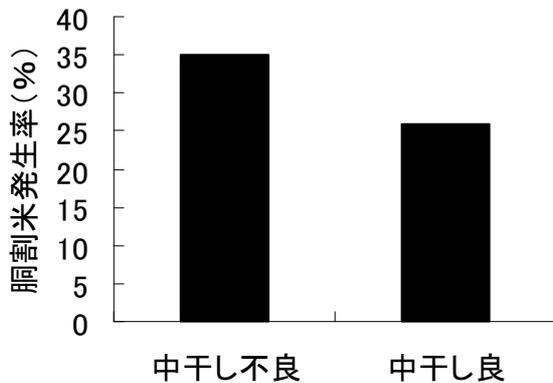
南越農林総合事務所 農業経営支援部

### 1 中干し

下記の茎数となったら、中干しを始めましょう。

- ・坪70株移植 → 1株16本
- ・坪60株移植 → 1株18本
- ・直播 → 1mあたり100本

※ 本年は、5月上旬移植なら6/5頃、5月上旬直播・5/中旬移植なら6/8～12頃が中干し開始期と推定。



中干しは、茎数過剰を抑制するとともに、根の発達を促進します。昨年は、中干しが不良だった圃場で品質が低下しました。

※ 水田に小ヒビが入ったら中干し終了。その後は間断通水。

図 中干しの良否と胴割米発生率との関係

### 2 カメムシによる斑点米対策・・今の時期は生息数を減らすことが重要です。

- ①大麦後水田は、麦収穫後にすみやかに耕うん・除草しましょう。
- ②畦畔は、6月17日および7月1～8日に、草刈りしましょう。

※ カメムシは、畦畔や大麦後水田のイネ科雑草で増殖します。

※ 7/10以後の草刈り、耕うんは実施しないこと！

### 3 病害対策

#### (1) いもち病対策

- ・「予防粒剤を苗箱施用していない場合」や「直播の場合」は  
→ 6月上中旬に予防粒剤(オリゼメート粒、オリブライト粒など)を散布する。
- ・補植苗はいもち病の発生源となるため、早急に取り除く！

#### (2) 紋枯病対策・・多発すると茎の強度が低下し、倒伏につながります。

- ・出穂前に粉剤を散布しない場合  
→ 6月中旬に予防粒剤(オリブライト粒など)を散布する。